

## 代表質問

### みえ産業振興戦略

日沖 正信 議員  
(新政みえ/いなべ市議員/丹那選出)



#### 問

本県の置かれた厳しい産業経済状況の中、本年7月にはさまざまな調査や検証を基に「みえ産業振興戦略」が示されましたが、雇用に関する戦略が伝わってきません。

県民が生活を支える上で最も関心があるのは、雇用の安定と創出です。この戦略を進めていくことで、どのように安定した雇用を生み出していくのか、県民が実感できる雇用面での取り組みについて、知事の考えをお聞かせください。

#### 答

地域雇用の維持、創出の1つと認識しており、戦略全体の目指す方向でもある多様な産業構造の構築は多様な働き方の実現につながると考えます。



産業振興戦略では、雇用に関する目標も掲げており、これまで県が取り組んで

きた就労支援にとどまらず、雇用創出にも配慮した雇用政策に取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問事項  
○知事就任後の成果と今後の課題 ほか

### 災害に備えた「自助」の取り組みを進める県民運動を

山本 勝 議員  
(自民みらい/桑名市・桑名郡選出)



#### 問

地震や津波などの災害から命を守るためには、建物の耐震化や家具の固定、発災後速やかに避難することなど「自助」の取り組みが最も重要です。避難路整備やハザードマップ作成などの「公助」の取り組みを行っても県民自らが行動しない限り、被害軽減にはつながりません。



災害用個人備蓄品「白い小箱」

「自助」の取り組みを進めるためには、県民運動が最も効果的と考えます。県で展開していく考えはありますか。

#### 答

県民一人一人が「自助」の考えのもと防災意識を高め、実際の行動につながることを最も重要だと考えており、これまでも「自助」の取り組みを促す活動を進めてきました。今年度から、新たに個人備蓄の推進などを通じた防災意識の啓発を目的とした「白い小箱運動」に参画します。このような活動が起爆剤となり「自助」を促す県民運動の展開・発展につながるよう積極的に取り組んでいきます。

その他の質問事項  
○平成25年度の県政運営に向けた考え方 ほか



## 一般質問

### 紀勢地域の医療確保

濱井 初男 議員  
(新政みえ/多気郡選出)



#### 問

地域の医療課題を解決するための地域医療再生計画において、救急医療体制の確保や高齢者保健福祉体制の充実を図るため、紀勢地域の基幹病院である大台厚生病院と報徳病院の再編整備が特に緊急性の高い事業として位置付けられています。

両病院の再編整備事業について、現在の取り組み状況や今後のスケジュールについて伺います。

#### 答

報徳病院は医療機能として整備予定であり、大台厚生病院は町、厚生連、三重大学、県で構成する協議会で新病院建設に向けた基本計画などの策定が進められています。

県は引き続き協議会に参加し計画などの策定支援を行うとともに、両病院の平成25年度中の工事着手に向けた支援を行います。

その他の質問事項  
○防災・減災対策の取り組み ほか